



# 子ども・議会体験プログラム 未来の市議会議員が議会を体験！

7月21日(金)、狭山市議会の議場や委員会室などを会場に、「子ども・議会体験プログラム」を開催しました。当日は、市内の小学5・6年生25名が参加し、議員を体験。議場での本会議や委員会審査など、普段は入ることのできない場所での体験に、緊張した面持ちで臨んでいました。



オリエンテーションでは体操でリラックス



各委員会に分かれて議案を審議



議員席は緊張感でいっぱい



議場で堂々と発言する子ども議員



議場で委員長は審議内容を報告



委員長報告は採決の参考に



## 広域飯能斎場組合議会

飯能市にある広域飯能斎場は、飯能市・狭山市・日高市の3市で構成された広域飯能斎場組合が運営しており、チェック機関として、市議会と同様の組合議会があります。

広域飯能斎場組合議会は、年2回開会していますが、狭山市議会から3名、飯能市議会から3名、日高市議会から2名の計8名の議員が選出され、議会運営にあたっています。

### 狭山市選出議員

内藤光雄議員、望月高志議員、中村正義議員



南房総市の斎場を視察

## 埼玉西部消防組合議会

狭山市の消防は、平成25年度から、狭山市、所沢市、飯能市、入間市、日高市の5市で構成された、埼玉西部消防組合が担っています。

埼玉西部消防組合議会では、予算や決算、消防・救急の運営などの審査を16名の組合議員が行っており、内訳は狭山市議会3名、所沢市議会6名、飯能市議会2名、入間市議会3名、日高市議会2名となっています。

### 狭山市選出議員

加賀谷勉議員  
町田昌弘議員  
田村秀二議員



一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



## 五輪やW杯の開催を 学校教育で活かす

矢馳 一郎 (創造)



### ◆スポーツを通じた学校教育

- ①東京五輪やラグビーW杯の開催は、子ども達にとって国際理解、外国語学習やスポーツへの意欲が高まるなどの効果が期待できるが、現在の学校教育での具体的な取り組みは。
- ②パラリンピックの開催は、子ども達にとって障がい者の方への理解を深める機会となるが、



市内小学校から送られた絵

現在の学校教育での具体的な取り組みは。

**学校教育部長** ①国際スポーツイベントの開催を学校教育に生かす取り組みの必要性を認識しており、まずは子ども達が興味や関心を持ち、市内に社会人ラグビーチームがあることや狭山市がラグビーの事前キャンプ地に立候補していることなど、W杯開催に市もかかわっていることを伝えたい。なお、国際理解を深める取り組みについては、現在、明確な計画はないが、今後、具体的な取り組みを検討していく。

②現時点で明確な計画はないが、6月中に入間野中学校で、障害者スポーツ振興のための事業、「あすチャレ！ school」の開催を予定しており、障害に対する生徒の関心や理解の醸成を図りたい。



## 幹部職員の死亡と 狭山市役所の職場改革

大島 政教 (はつらつ)



### ◆働きやすい職場づくりを

- ①幹部職員の死亡について、警察の事情聴取はあったのか。
- ②狭山市として要因解明に向けた取り組みの状況は。
- ③職員の健康、仕事の効率アップ、市民の福祉向上の視点から、超過勤務の削減方針はどうか。

**市長** ①職員が亡くなった当日、警察による現場検証などが行われ、関係職員が立ち会ったが、その後、市への事情聴取はない。

②当該職員がなぜ死に至ったのか、その理由は本人以外に知るすべはないが、今後、亡くなった職員の業務実態を把握するための外部有識者会議を立ち上げる予定であり、現在はその準備段階にある。

### その他のテーマ

- ▶市役所の働き方改革

**総務部長** ③これまでも水曜日と金曜日のノー残業デーに定時退庁を徹底してきた。また、残業の多い所属には朝方勤務を励行するとともに、上司みずから配下の職員の規範となり率先して定時退庁できるよう業務の改善に取り組んでいるが、今後も超過勤務時間のさらなる削減を図っていきたいと考えている。



市民福祉と市の進展の館

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313